

キャリア教育共創プログラム 2022年度 講義実施報告書

2023年3月



はじめに

「キャリア教育共創プログラム」は、産学共創によるキャリア教育（人材育成）の実践策として、中経連が事務局役を担い、会員大学のニーズを会員企業に提供し、会員企業に提供して頂ける講義をご検討いただいた上、当事者間のマッチングを経て、会員企業から会員大学の講義へ講師派遣等を行う取り組みです。

このたび、2022年度の実施報告書を取りまとめましたので、ご報告いたします。ご活用を検討されている会員大学の皆様の参考になれば幸いです。また、今後も会員企業の皆様には、引き続きのご協力をよろしくお願い致します。

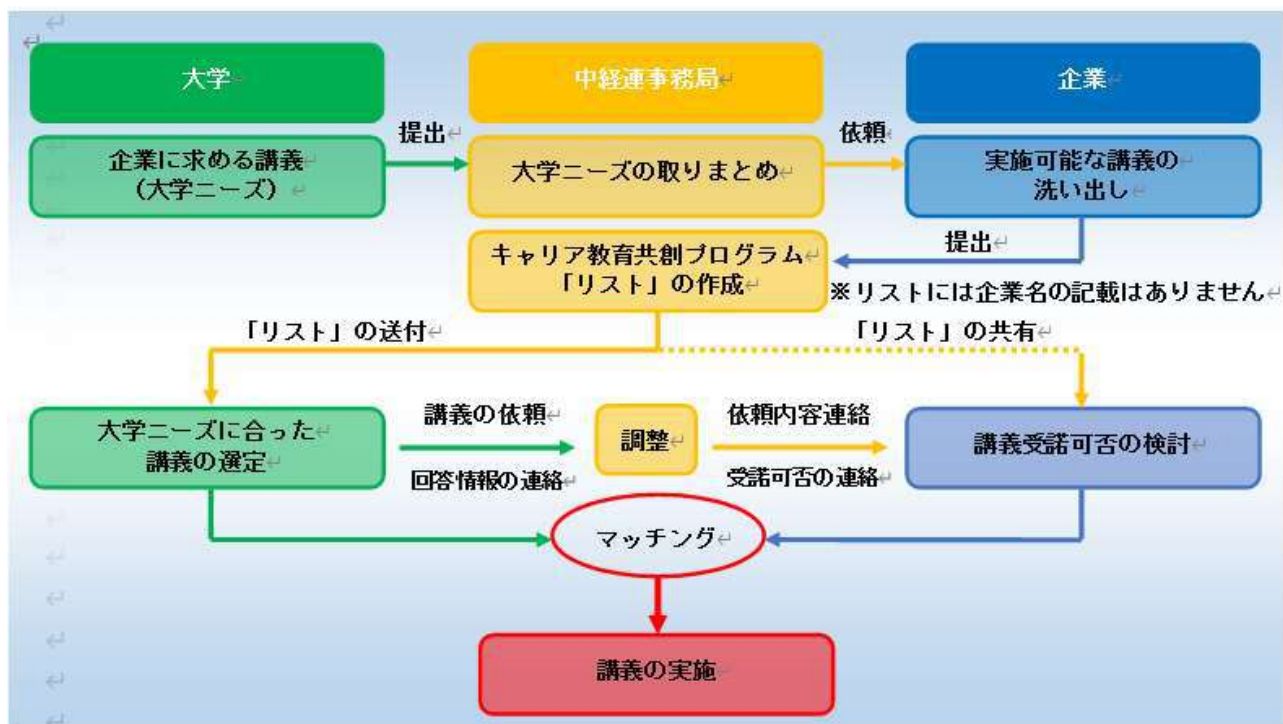
【参考：2022年度の実績】

- 会員企業 57 社・団体から 108 件の「相談可能な講義内容」を会員大学に提供
- 12 大学において 23 社・団体が 44 コマの講義を実施

【参考：実績（大学数・コマ数）の推移】

	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
大学数	8	6	10	6	10	12
コマ数	43	26	20	17	29	44

(参考) 本取り組みのスキーム



【お問い合わせ先：事務局】（一社）中部経済連合会 企画部 渡邊・平野

TEL：052-962-8091 E-mail：jinzai@chukeiren.or.jp

目 次

<実施報告書（実施日付順。敬称略。法人種類の名称略）>

中京大学×朝日新聞.....	1
名古屋市立大学×三井住友信託銀行.....	2
名古屋市立大学×三井住友海上火災保険.....	3
南山大学×名南経営.....	4
公立諏訪東京理科大学×富士通 Japan	5
公立諏訪東京理科大学×豊田自動織機.....	6
名古屋工業大学×豊田鉄工.....	7
名古屋市立大学×中部日本放送.....	8
愛知大学×A社	9
三重大学×フジトランスコーポレーション.....	10
名古屋学院大学×サントリーホールディングス.....	11
南山大学×A社	12
名古屋学院大学×ドコモ CS 東海.....	13
名古屋学院大学×アクアリング.....	14
中京大学×トヨタ自動車.....	15
南山大学×三井不動産リアルティ.....	16
愛知大学×豊通ヒューマンリソース.....	17
名古屋学院大学×興和.....	18
名古屋市立大学×中部電力.....	19
大同大学×グリーンサイクル.....	20
中京大学×中部電力.....	21
南山大学×豊田自動織機.....	22
名古屋市立大学×鹿島建設.....	23
名城大学×岡崎信用金庫.....	24
中京大学×A社	25
南山大学×サントリーホールディングス.....	26
中京大学×豊田自動織機.....	27
名古屋学院大学×NEXCO 中日本	28
愛知県立大学×第一生命保険.....	29
名古屋学院大学×豊田自動織機.....	30
南山大学×大同特殊鋼.....	31
名古屋市立大学×サントリーホールディングス.....	32

愛知大学×朝日新聞.....	33
名古屋市立大学×中部経済連合会.....	34
東海学園大学×三井不動産リアルティ.....	35
東海学園大学×豊田鉄工.....	36
東海学園大学×フジトランスコーポレーション.....	37
東海学園大学×サーラエナジー.....	38

※各大学様よりご提出頂きました実施報告書をできる限り原文のまま掲載しておりますが、講師をお務め頂きました方の氏名を伏せるなど、一部修正を行っております。

※社名を伏せている A 社は同一企業。

中京大学 × 朝日新聞社

	項目	内容
講義等情報	講義等の実施日と時間帯	2022年4月26日 13:10～14:30 2022年5月10日 13:10～16:00 2022年5月17日 13:10～14:30
	講義等の種類	出前授業
	対象学部・学科	工学部・電気電子工学科, 工学研究科・電気電子工学専攻
	対象学年	3～4年, 修士1～2年
	受講学生数	40人
	講義等の目的・狙い	持続可能な開発目標(SDGs)について講義とグループワークを通じて学び, 自身の研究活動がSDGsの達成に貢献できることを意識させる
	講義等のテーマ	新聞から学ぶSDGs
	講義等の内容(プログラム)	1回目: 新聞記者から学ぶSDGs 2回目: 新聞記事から学ぶSDGsワークショップ 3日目: 工学研究とSDGs
	講義形式(対面授業、オンライン授業等)	対面授業
コメント	学生のコメント	多くの企業がSDGs達成に向けた取り組みをアピールしているので、今後就職活動を行っていく上で、自分の研究が企業の掲げるSDGs達成に貢献できるという視点からも自己PRができると感じました。
	担当教員のコメント	工学部・工学研究科で実施している研究活動はSDGsの目標と密接に関係しており、研究活動が社会貢献に繋がっていることを学生自身が知る良いきっかけになったと思います。丁寧な講義をしていただき感謝申し上げます。
	反省点・改善すべき点	無し。

名古屋市立大学 × 三井住友信託銀行

	項目	内容
講義等情報	講義等の実施日と時間帯	2022年 5月26日、11月17日
	講義等の種類	出前授業
	対象学部・学科	薬学部、経済学部、人文社会学部、芸術工学部、総合生命理学部
	対象学年	1～2年
	受講学生数	129名(第1チーム)
	講義等の目的・狙い	大学は、様々な学問領域における高度な知識や技能を修得する場であると同時に、「社会人基礎力」獲得のための準備期間でもある。本講義では、社会人として働いている方々から、働く中での様々な経験を聞くことを通して、自身が将来どのようなキャリアをもつか、学生時代に身に付けるべき基礎学力とは何か、自身に欠けている能力は何かを明確にするとともに、自ら主体的に学ぶ姿勢を強固にすることなどを目的とする。
	講義等のテーマ	社会人になるA – キャリア形成に備えた学び –
講義等の内容(プログラム)	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介 ・「社会人とは」を中心テーマとする講話 	
コメント	学生のコメント	<p>・会社は学校と違って、ただ一つの解があるわけではなく自分が持つ知識や経験の中から最適解を導き出すことが大切ということを学んだのでこれからの大学生活を最適解を見つけながら過ごしたいと思いました。</p> <p>・学生と社会人の違いについて最も大きい要素だと感じたのがアウトプットの違いである。高校までは、答えのある問いばかりを教わってきたけれど、これからは自分で答えを導く過程を追い求め続けるという違いがあった。</p> <p>・大学は、学校の要素と会社の要素をどちらも含んでいる場所だとわかった。そのため、大学生活では、より会社の要素を強く持つ活動に積極的に参加していきたいと思う。例えば理学部の研究は、答えのない問題に対して時間をかけて取り組むもので、会社での活動に近いものを感じたので、能動的に取り組んでいこうと思った。</p> <p>・積極性の中に謙虚さを持つという言葉が最も印象に残った。自分なんか、と謙遜してばかりでは会社に何も貢献できないということも分かった。今回の授業を通して、社会人になる上で自分の意見をしっかり持ちながらも、他者の考え方をしっかり受け入れることが大事だと実感した。</p>
	担当教員のコメント	社会人となり仕事に携わる際には決まったやり方が無いこと、絶えず考え行動する必要があること、大学はそれらを経験する場でもあるため、学校の勉強だけをしてはダメだということを理解したことがコメントから伺える。
	反省点・改善すべき点	特に無し。

名古屋市立大学 × 三井住友海上火災保険

	項目	内容
講義等情報	講義等の実施日と時間帯	2022年 5月30日
	講義等の種類	出前授業
	対象学部・学科	薬学部、経済学部、人文社会学部、芸術工学部、総合生命理学部
	対象学年	1～2年
	受講学生数	129名(第1ターム)
	講義等の目的・狙い	大学は、様々な学問領域における高度な知識や技能を修得する場であると同時に、「社会人基礎力」獲得のための準備期間でもある。本講義では、社会人として働いている方々から、働く中での様々な経験を聞くを通して、自身が将来どのようなキャリアをもつか、学生時代に身に付けるべき基礎学力とは何か、自身に欠けている能力は何かを明確にするとともに、自ら主体的に学ぶ姿勢を強固にすることなどを目的とする。
	講義等のテーマ	社会人になるA — キャリア形成に備えた学び —
講義等の内容(プログラム)	・自己紹介 ・「女性の働き方」を中心テーマとする講話およびパネルディスカッション	
コメント	学生のコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・三井住友海上様の女性支援制度の手厚さ、会社自体の雰囲気印象が印象に残りました。池上様と福田様の立ち振る舞いや雰囲気会社での雰囲気を感じ取ることができましたし、お二人のような方が理想の上司だなと思いました。 ・育児休暇を取った後もいきなり現場に復帰するのではなく、オンラインでの研修などを経てから復帰できることを聞き、ライフワークバランスを考えながら働くことができるのだと知った。 ・女性管理職増加の問題点として、個人の管理職になることへの意識・自信の低さが挙げられると池上さん、福田さんのおっしゃっていたように、昇進することへのハードルを少しでも下げられる取り組みが必要になってくると思われた。 ・自分の強みを見つけ、そしてそれを活かせる場所を見つけることが大学生の私たちにとって大切であるという言葉が最も印象的だった。 ・「環境の変化に取り残されず、新しいことにチャレンジしていくことが大切」ということが印象に残りました。今も変化している世の中で、何事にも恐れず挑戦していかないと取り残されてしまうということはもったいないし、そのような考え方を少しでもなくせるように心がけようと思います。
	担当教員のコメント	子供を産み育てる環境が充実してきている一方、女性の管理職が今後当たり前になること、職場における責任を負うことが求められていることについて理解が進んだことがコメントから伺える。
	反省点・改善すべき点	特に無し。

南山大学 × 名南経営

	項目	内容
講義等情報	講義等の実施日と時間帯	2022年6月15日(水) 11:05-12:45
	講義等の種類	出前授業
	対象学部・学科	経営学部・経営学科
	対象学年	2-3年生
	受講学生数	2年生25名, 3年生2名 計27名
	講義等の目的・狙い	会計の意義・役割の理解
	講義等のテーマ	税理士・財務コンサルタントの実務とその魅力 (事業収支計画策定の実務)
	講義等の内容(プログラム)	税理士・財務コンサルタントの仕事と魅力 実務で使う企業会計 事業収支計画について 事業収支計画策定の事例紹介 事業再構築トレンド
	講義形式(対面授業、オンライン授業等)	対面とオンラインのハイブリッド
コメント	学生のコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・税理士や財務コンサルの仕事に対するイメージが変わった。 ・AIによって仕事が奪われるという話を聞いて将来に対して不安を抱いていましたが、人間にしかできない仕事も多くあると気付かされました。 ・実際の事業収支計画の例を学ぶことができてよかった。 ・事業再構築がトレンドであることを初めて知った。 ・企業会計の実務において、財務会計、税務会計、管理会計が重要であることが分かった。 ・将来、コンサルのような魅力的な仕事に就きたいと感じた。
	担当教員のコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・税理士業務について丁寧に解説いただいたように感じます。 ・会計に関わる仕事が将来AIによってなくなると誤解している学生がいましたが、その誤解を正すきっかけになったように思います。 ・質問もたくさんで授業時間内で対応できませんでした。講師の先生には、授業後に教室に残っていただき、学生の質問に丁寧に回答いただき、ありがとうございました。
	反省点・改善すべき点	・特にありません。

公立諏訪東京理科大学 × 富士通Japan

	項目	内容
講義等情報	講義等の実施日と時間帯	2022年7月2日(土)10:50~12:30
	講義等の種類	出前授業
	対象学部・学科	工学部・情報応用工学科、機械電気工学科
	対象学年	1年
	受講学生数	約300名
	講義等の目的・狙い	低学年時から企業人の講演を聞くことで、働くイメージを持ち、今後の大学生活や学びについて考える機会とすること。
	講義等のテーマ	ICT業界とその仕事
	講義等の内容(プログラム)	<ol style="list-style-type: none"> 1. ICTとは 2. ICT業界とは 3. ICT企業とは 4. ICT業界の仕事 5. DXについて 6. 最後に
	講義形式(対面授業、オンライン授業等)	対面授業
コメント	学生のコメント	<p>・ICTと企業の関わり方や今後IoTなどの情報通信技術が発展していくことでどのように社会が発展していくかまたは変わっていくのかを、企業に所属している方の視点からお話を聞けてとても勉強になった。</p> <p>・実際に企業の方々のお話を聞くことができてよかった。富士通Japanさんがモノを作るとき、性能だけでなく環境にどう利益があるか考えたり、その先に何があるかを考えたりするなど、企業の方々の視点の話を聞くことができ、とてもためになった。</p> <p>・ICT技術の現状やSDGsなど社会問題に対する心構えなど、これからを担っていく私たちにとって有益なお話を聞くことができました。</p> <p>・内容が分かりやすく興味を持って聞くことができた。時代の変化やIT業界、エンジニアの話など技術者になりたいと思っても雑駁としたイメージしかなかったので生の現場の声が聞けて貴重な機会だった。</p>
	担当教員のコメント	<p>学生の身近な事例を取り入れながら、AIやIoT等が日本の未来にどのような影響を及ぼすのかを丁寧に解説していただきました。また、SDGsに絡めた企業の取り組みや、具体的な職種に求められる仕事についてご説明いただき、学生に働く意識を持ってもらう良いきっかけになったと思います。</p>
	反省点・改善すべき点	特に無し。

公立諏訪東京理科大学 × 豊田自動織機

	項目	内容
講義等情報	講義等の実施日と時間帯	2022年7月2日(土)13:40~15:20
	講義等の種類	出前授業
	対象学部・学科	工学部・情報応用工学科、機械電気工学科
	対象学年	1年
	受講学生数	約300名
	講義等の目的・狙い	低学年時から企業人の講演を聞くことで、働くイメージを持ち、今後の大学生活や学びについて考える機会とすること。
	講義等のテーマ	技術開発における物理、数学の適用
コメント	講義等の内容(プログラム)	I 会社概要 II 背景 自動車業界 日本の未来は? III 求められる技術者とは IV 演習
	講義形式(対面授業、オンライン授業等)	対面授業
	学生のコメント	<p>・講義の中で、求められる技術者についての話が最も印象に残った。実験の際は、実験結果をもとに条件を理解し、結論から仮定・仮説を考えることが必要であることを学んだ。また、開発の際は正解がない問題に対し、良い回答がないかを常に考え続ける必要があることを学んだ。現在の技術者には、思考力が求められているということを知り、今後の生活では常に自分の考えを持っていこうと思った。</p> <p>・学生側に意見を求める形式の講義で、私たちが受け身に回るのではなく、こちらからも発言するように授業を構成されていて、意欲を掻き立てられた100分間でした。</p> <p>・SDGsについて何となくは知っていたのですが一つの目標について深く聞くことができ、自動車業界の未来はどうなるのか、今の自動車業界の動きについて聞けて良かったです。演習では自分で考え、問題を解く時間をとることができ、楽しみながら思考法について知れたので良かったです。</p>
	担当教員のコメント	SDGsや環境問題の視点から、今後の自動車業界の展望についてご説明いただきました。また、技術者に必要な考え方を演習問題を通して伝えていただいたことで、学生は緊張感をもって学び、技術者となるうえで必要な考え方を実感することができたと思います。
	反省点・改善すべき点	特にありません。

名古屋工業大学 × 豊田鉄工

	項目	内容
講義等情報	講義等の実施日と時間帯	2022年7月13日 14:40-16:10
	講義等の種類	出前授業
	対象学部・学科	工学部 全学科
	対象学年	3年
	受講学生数	110名
	講義等の目的・狙い	社会のシステムとそのマネジメントに関する理解
	講義等のテーマ	組織のマネジメントとしての人事労務管理
	講義等の内容(プログラム)	人事労務管理の理解と具体的事例の紹介
	講義形式(対面授業、オンライン授業等)	オンライン(オンデマンド)
コメント	学生のコメント	漠然とした印象のみしかない人事労務管理について理解する機会となった。将来必要な基礎的知識が身についた。
	担当教員のコメント	人と組織のマネジメントにおいて重要な人事労務管理について具体的な事例に基づき分かりやすくお話しいただけた。
	反省点・改善すべき点	特になし

名古屋市立大学 × 中部日本放送

	項目	内容
講義等情報	講義等の実施日と時間帯	2022年 7月14日
	講義等の種類	出前授業
	対象学部・学科	薬学部、経済学部、人文社会学部、芸術工学部、総合生命理学部
	対象学年	1～2年
	受講学生数	129名
	講義等の目的・狙い	大学は、様々な学問領域における高度な知識や技能を修得する場であると同時に、「社会人基礎力」獲得のための準備期間でもある。本講義では、社会人として働いている方々から、働く中での様々な経験を聞くことを通して、自身が将来どのようなキャリアをもつか、学生時代に身に付けるべき基礎学力とは何か、自身に欠けている能力は何かを明確にするとともに、自ら主体的に学ぶ姿勢を強固にすることなどを目的とする。
	講義等のテーマ	社会人になるA – キャリア形成に備えた学び –
講義等の内容(プログラム)	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介 ・「社会人とは」を中心テーマとする講話 	
コメント	学生のコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人とは役割を務める者であり、役割を務めるとは果たすべきことを果たすということと同時に新しい価値を創り出すことである。という話が最大の学びである。 ・話し方の重要性を学んだ。講演中、少し話すトーンを変えたり、言葉の使い回しを変えるだけで、無意識のうちに受け取り方が変わることを感じたからである。また、責任を負わなくていいように、～でもいいよという話し方をする人が多いと聞いて、日常でよくあると思ったし、仕事の上でもそれが障害になるので、自分の言葉に責任を持って話せるよう知識や自信をつけたい。 ・今回の授業において、学生時代にサークルやクラブ活動という組織の中で生活することで、自分を磨くことの重要性が「最大の学び」だと考えました。 ・今回の事業における最大の学びは、何かに挑戦する際に、目的(まと)、目標(道標)、狙い(効果)の3つの観点から考えるということである。
	担当教員のコメント	学生は、「新しい価値を生み出すのが社会人である」という言葉に惹かれたようだ。人と関わる以上は、情報を伝えるだけでなく情報を読み取る力も必要となる。それは、人と関わる中でしか身に付かないことも説明を受けたので、学生には、より積極的に行動することを期待したい。
	反省点・改善すべき点	特に無し。

愛知大学 × A社

	項目	内容
講義等情報	講義等の実施日と時間帯	2022年7月19日 10:45～12:15
	講義等の種類	出前授業
	対象学部・学科	経営学部を中心に全学部 (現代中国学部・国際コミュニケーション学部・経済学部・法学部)
	対象学年	1年生を中心に全学年
	受講学生数	70名
	講義等の目的・狙い	女性のキャリア形成という観点から、ワークライフバランスを考え、自分のキャリア展望を見据える。
	講義等のテーマ	長く働く女性のキャリア
	講義等の内容(プログラム)	1. 自己紹介 2. 業界・当社の紹介・自身の仕事内容 3. 会社で得た経験、やりがい、葛藤 4. ワークライフバランスを実現するために工夫していること
	講義形式(対面授業、オンライン授業等)	対面授業
コメント	学生のコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・育児休暇など会社の福利厚生をフル活用し、やりくりしているとお話を聞き、福利厚生や復職率の重要性を改めて感じた。現段階では、今後自分が結婚をするのか、子供を産むのかは全く見当がつかないが、女性である以上その点は就職活動において見逃せない部分であると考えようになった。 ・就活でどんな企業に就きたいかを考えればよいと思っていて、その後のキャリア形成については考える機会はなかった。話を聞いたことによってキャリアアップの重要性に気づくことができた。 ・「家庭も仕事も同じくらい大事にしたい」という言葉が、理想の職場を表現していると感じた。どちらかを優先するのではなく、両方とも大事にする人生もあるのかと気づかされた。
	担当教員のコメント	多くの学生は就活でどんな企業に就職したいか／できるかを重視し、就職後のキャリア形成の観点から自分の人生を俯瞰的に考えることは少ない。今回の講演で、ライフとワークは表裏一体のものであり、男性でも女性でもバランスの取れた人生を歩める可能性を改めて理解してもらえたと思う。
	反省点・改善すべき点	時間の都合上、質疑応答の時間が少なくなりました。講演会実施前に事前に質問を受け付けておくのも良いかもしれない。

三重大大学×フジトランスコーポレーション

	項目	内容
講義等情報	講義等の実施日と時間帯	令和4年9月
	講義等の種類	出前授業
	対象学部・学科	工学部総合工学科
	対象学年	1年
	受講学生数	397名
	講義等の目的・狙い	企業や社会で活躍するために必要なことからの理解
	講義等のテーマ	社会に求められる人材像
	講義等の内容(プログラム)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会でうまくいっている人材の共通点 2. キャリアとは 3. 企業や社会が求める人材像 4. 社会人に求められる力 5. 社会人に必要な能力 6. 社会人に求められる人間力
講義形式(対面授業、オンライン授業等)	オンライン授業	
コメント	学生のコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の自分に必要な能力がわかった。 ・今までに聞けなかった話で興味深かった。 ・いろいろな会社の話も聞きたかった。 ・学生時代にやるべき具体的なことも教えてほしかった。 ・新鮮な授業だった。 ・楽しく視聴できた。
	担当教員のコメント	大学教員にはできない講義であり、学生たちにとっては新鮮な授業だった。
	反省点・改善すべき点	オンデマンド形式であるので、受講学生の反応を知ることができないので、せつかくの良い話が心にひびいたのかどうかの確認が困難。この手の講演は、やはり、対面授業が望ましい。

名古屋学院大学 × サントリーホールディングス

	項目	内容
講義等情報	講義等の実施日と時間帯	2022年10月5日 13:00-14:30
	講義等の種類(選択)	出前授業
	対象学部・学科	経済学部経済学科・現代社会学部現代社会学科
	対象学年	2年生(但し3年生以上も受講可)
	受講学生数	47人
	講義等の目的・狙い	様々な業界・企業について知り、職業選択や進路の決定に役立てることを目的とした講義である。
	講義等のテーマ	酒類を中心としたサントリーの事業内容と、特に飲食店営業支援の実例の説明
	講義等の内容(プログラム)	1. サントリーの歴史 2. サントリーの国内ビジネスと外食
	講義形式(対面授業、オンライン授業等)	オンライン授業
コメント	学生のコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・「やってみなはれ」というサントリーの考え方を自分の今後の人生に生かしたい ・日々の生活でも、問題に対して現状分析や問題の明確化を図り、より良い生活を送れるように分析力を高めていきたい
	担当教員のコメント	普段なかなか知ることができない飲食店営業支援の実際を学び、仕事の背後に様々な工夫があることを学ぶことができたようだ。
	反省点・改善すべき点	特になし。

南山大学 × A社

	項目	内容
講義等情報	講義等の実施日と時間帯 (複数回の場合はすべての日程)	2022年10月6日 11:05-12:45
	講義等の種類(選択)	出前授業
	対象学部・学科	経営学部・経営学科
	対象学年	学部 3年生
	受講学生数	12名
	講義等の目的・狙い	企業が求める人材像と活躍する人財
	講義等のテーマ	人事担当者による『企業が求める人材』
	講義等の内容(プログラム)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 講師自己紹介 2. 金融・保険業界の紹介 3. 会社の紹介 4. ワークライフバランス改善の取組 5. これまでの長期経営計画 6. 新中期経営計画(2021-2023) 7. 質疑応答
講義形式(対面授業、オンライン授業等)	対面授業	
コメント	学生のコメント	<p>保険会社という業界を見ていなかったのですが、今回の講義で保険会社の仕組みから業務まで知ることができて大変勉強になりました。具体的にいうと今まで保険会社のイメージは自宅訪問での営業というイメージを持っていたので、講義を受けて、私たち個人はもちろん企業にも営業を行い、それ以外にも事業を多角化して行なっていることに驚き、保険会社のイメージが一変されました。また、保険会社も利益を得ようと顧客から集めた保険料を使って、投資や事業を行うという面に経営学を学んでいる身として興味を持ちました。</p>
	担当教員のコメント	<p>金融・保健業界の業務についてご紹介頂いた後、A社の中期計画についてもご紹介頂きました。コロナ禍を経て様々な改革が必要であることを改めて確認させて頂くと同時に、ワークライフバランス改善の取組みを通して、今後、大学が教職協働で改革を進めて行くために必要な課題についても確認させて頂きました。</p>
	反省点・改善すべき点	特になし。

名古屋学院大学×ドコモCS東海

	項目	内容
講義等情報	講義等の実施日と時間帯	2022年10月12日 13:00-14:30
	講義等の種類(選択)	出前授業
	対象学部・学科	経済学部経済学科・現代社会学部現代社会学科
	対象学年	2年生(但し3年生以上も受講可)
	受講学生数	41人
	講義等の目的・狙い	様々な業界・企業について知り、職業選択や進路の決定に役立てることを目的とした講義である。
	講義等のテーマ	通信業界の概要やその中でのNTTグループの位置づけ、社員の働き方の紹介
	講義等の内容(プログラム)	1. NTTドコモグループ/企業概要・事業内容等 2. 通信業界の変遷、最新技術の活用例等 3. 現状のドコモ事業ポートフォリオの紹介 4. ドコモ東海グループ事業運営における社員の働き方紹介
	講義形式(対面授業、オンライン授業等)	対面授業
コメント	学生のコメント	・今後の情報通信の発展を担っていく責任を自覚し、アンテナを張っていきたい ・時代の最先端に遅れず行動していける社会人になりたい
	担当教員のコメント	情報通信の変遷を知ることで、今後の新しい展開に興味をもった学生が多かったようだ。
	反省点・改善すべき点	特になし。

名古屋学院大学×アクアリング

	項目	内容
講義等情報	講義等の実施日と時間帯	2022年10月19日
	講義等担当企業名	株式会社アクアリング
	講義等の種類	出前授業
	対象学部・学科	経済学部・現代社会学部
	対象学年	2年生(但し3年生以上も受講可)
	受講学生数	43人
	講義等の目的・狙い	様々な業界・企業について知り、職業選択や進路の決定に役立てることを目的とした講義である。
	講義等のテーマ	学生の時に学ぶべきことは何か
	講義等の内容(プログラム)	①会社概要 ②学生のみなさんに伝えたいこと ③質疑応答
	講義形式(対面授業、オンライン授業等)	対面授業
コメント	学生のコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・「常に学習を続け、時代の変化に対応できる役立つスキルを身に付けることが大切だと教わりました。 ・自分と違う価値観をもった人と触れ合いながら常に学習を続ける人生にしようと考えました。
	担当教員のコメント	茂森代表の成功体験や失敗体験を通じ、ビジネスの世界や社会に必要とされるスキルなどお話を頂きました。人生100年という長期の視野に立った生き方を学び、学生は大いに刺激を受けたようです。
	反省点・改善すべき点	特に無し。

中京大学×トヨタ自動車

	項目	内容
講義等情報	講義等の実施日と時間帯	2022年10月20日 14:55～16:25
	講義等担当企業名	トヨタ自動車株式会社
	講義等の種類	出前授業
	対象学部・学科	経済学部 経済学科
	対象学年	3年
	受講学生数	50名
	講義等の目的・狙い	就職活動へ向けてのキャリア教育
	講義等のテーマ	トヨタの問題解決講義
	講義等の内容(プログラム)	1. トヨタの問題解決 2. ケーススタディ
	講義形式(対面授業、オンライン授業等)	対面授業
コメント	学生のコメント	トヨタ自動車における問題解決の思考パターン等を説明いただき、それを使いながらケーススタディを通して、問題解決にチャレンジできたのがとても面白かったです。これから就職活動や大学生活において、この思考パターンを使っていきたいです。
	担当教員のコメント	3年生は、エントリーシートや自己PR等の作成が増えいく時期である。この思考パターンは、企業研究、企業説明会に参加することも多いため、企業がかかえる問題や、また自分のやりたいことは何かなど明確にするうえで大いに役立つ講義であった。
	反省点・改善すべき点	ケーススタディを行う際には、グループになることも多いため、机や机が可動式の教室だと、もっと意見出しなどやりやすいのかと思う。(今回は固定のスクール形式だったため、意見出しに少々時間がかかった印象がある。)

南山大学 × 三井不動産リアルティ

	項目	内容
講義等情報	講義等の実施日と時間帯	2022年10月20日 11:05-12:45
	講義等担当企業名	三井不動産リアルティ
	対象学部・学科	経営学部・経営学科
	対象学年	学部 3年生
	受講学生数	12名
	講義等の目的・狙い	社会人として働くうえで大切なことやビジネス上の信頼関係を築くうえで大切なことは何か。
	講義等のテーマ	社会人とは ～働くための知識と技術～
	講義等の内容(プログラム)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 会社紹介 2. 社会人とは 3. ケーススタディ 4. ソーシャルスキルとは 5. 質疑応答
	講義形式(対面授業、オンライン授業等)	対面授業
コメント	学生のコメント	私は不動産業界に興味を持っていたため、三井不動産リアルティ様がどのような事業を行っており、三井不動産グループの中でどのような役割を担っているのかを学ぶことができ、大変有意義で貴重な時間でした。また、社会人とはどのようなものであるのかについてのお話を伺い、現在の自分に不足しているように思えるものばかりであったので、これを機に改善していこうと思います。さらに、アサーションスキルというものを初めて知り、今後は是非利用していきたいと思いました。本日は貴重なお話とお時間を誠にありがとうございました。
	担当教員のコメント	三井不動産リアルティの業務についてご紹介頂いた後、社会人として働くうえで大切なことや、ビジネス上の信頼関係を築くうえで大切なことについてご説明頂きました。また、三井不動産グループが実施しているMaaS事業や、その他の不動産ソリューション事業についても、わかりやすくご説明頂きました。社会課題の解決を図るための研究については大学にも多くの知見があるため、これらを活用した産学連携の可能性についても情報交換させて頂きました。
	反省点・改善すべき点	特になし。

愛知大学 × 豊通ヒューマンリソース

	項目	記入欄(原則として全て記入してください)
講義等情報	講義等の実施日と時間帯 (複数回の場合はすべての日程)	2022年10月25日(火) 16:30~18:00
	講義等の種類(選択)	出前授業
	対象学部・学科	国際コミュニケーション学部・経営学部
	対象学年	2年生以上
	受講学生数 (複数回の場合は各回毎の人数)	50名(正規履修者数は33名)
	講義等の目的・狙い	グローバル化した産業社会を理解するための理論と事例を学ぶ。学生がグローバル商社の仕事を理解するうえでも非常に有益であり、就活においても大いに刺激になる。
	講義等のテーマ	異文化コミュニケーション
	講義等の内容(プログラム)	科目「グローバル産業社会論」の一環として、特別講義を開催。グローバル化が進むなか、国籍、文化背景の異なる人たちとのコミュニケーションにおいて心掛けるべきこと、大切なのは言語だけでないことを学ぶ。グループワークをとおして異文化を理解するための3つの(技術的、文化的、心理的)壁を知り、考察を深める。
講義形式(対面授業、オンライン授業等)	対面授業	
コメント	学生のコメント(特徴的なものを記入)	<p>・とても興味深いと感じたのは、ブローケン・イングリッシュのパートです。私はまんまと頭でっかちな単語帳でしか見ないような英単語を用いて和訳をしてしまい、実際に同じ席に座っていた経営学部の方にその単語の意味が分からないと言われてしまいました。猛省すると同時に、なぜ英会話をここまで難しいものとして捉えてしまっているのだろうか?と不思議に感じました。</p> <p>・「思い込み」は私たちの中で判断を行うときに強く働く要素の一つで、それは周りの人々とのコミュニケーションを妨げる大きな要素であり、強く印象に残った話であった。印象に残ったのは私自身が「思い込み」はダメだと理解していても、日ごろから「思い込み」で物事などを判断する癖がついてしまっているからなのではないかと感じられた。講義の最後に「理解すること≠やってみること」と出ていたが、それは間違いないだろう。</p> <p>(授業後に受講学生が記述した400字エッセイからの部分抜粋)</p>
	担当教員のコメント	異文化コミュニケーション(英会話)の場では「ブローケンイングリッシュ」のわかりやすい表現で十分であり、むしろ相手の状況を理解する態度のほうが重要になる、という現場の視点の話に学生たちは驚いていた。とくに豊通は学生にとって憧れの就職先であることから、講師の話は説得力があったようだった。「きれいな」発音で「正しい」英語を話すべきだと学生が考えている問題を大学教員の私自身も再認識し、英語の授業ではこうした刷り込みをさらに積極的に取り払うための工夫が必要だと感じた。
	反省点・改善すべき点	90分の講義は時間的に短く、学生が講師と具体的にディスカッションする時間がとれたらなおよかった。今回は異文化コミュニケーション論の授業だったが、一個人としての講師の経歴や豊通の仕事についてもっと話していたら、就活をする学生たちにとってさらに興味深い内容になったように思う。

名古屋学院大学 × 興和

	項目	内容
講義等情報	講義等の実施日と時間帯	2022年10月26日
	講義等の種類	出前授業
	対象学部・学科	経済学部・現代社会学部
	対象学年	2年生(但し3年生以上も受講可)
	受講学生数	43人
	講義等の目的・狙い	様々な業界・企業について知り、職業選択や進路の決定に役立てることを目的とした講義である。
	講義等のテーマ	海外勤務体験談
	講義等の内容(プログラム)	①会社概要 ②シンガポールでの海外勤務体験談 ③質疑応答
	講義形式(対面授業、オンライン授業等)	対面授業
コメント	学生のコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・自分がいかに狭い世界で生きていることに気付かされた。 ・海外に行ったことにより、海外の文化やマナー、海外でのビジネス、人脈など様々なことが得られることがわかった。 ・視野を広く色々なことに積極的に挑戦することにより、自分自身のスキルアップに繋がると思った。
	担当教員のコメント	講師の方のシンガポール勤務時代における生活からビジネスに渡る体験談をお聞きし、学生は日本とは異なる習慣や考え方を知ることができ、視野を広げることができたようです。
	反省点・改善すべき点	特に無し。

名古屋市立大学 × 中部電力

	項目	内容
講義等情報	講義等の実施日と時間帯	2022年10月27日
	講義等の種類	出前授業
	対象学部・学科	薬学部、経済学部、人文社会学部、芸術工学部、総合生命理学部
	対象学年	1～3年
	受講学生数	128名
	講義等の目的・狙い	社会においてどのような人材が求められているか、学生のうちに何を学んでおくべきかを就職支援企業に所属する外部講師から学ぶ。また、様々な業界の外部講師から、各業界の社会的役割、社会における位置づけ、仕事のやりがい、将来性、そこで働く楽しさなどについて聞くことで自身のキャリアのデザインにつなげる。
講義等のテーマ	社会人になるB — キャリア形成に備えた学び —	
講義等の内容(プログラム)	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介 ・所属企業が社会において果たす役割 ・組織内での業務区分 ・職務上必要とされる知識や能力 ・仕事のやりがいや所属業界の将来性 などについて、個々の所属団体の宣伝ではなく、業界の代表として講義	
コメント	学生のコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・中部電力で働く人たちは台風など何か災害が起こった時でも自分たちがいち早く電気を使えるように危ない中、現場に向かって問題解決に向かって頂いていることを知ることが出来た。
	担当教員のコメント	学生のコメントを見る限り、毎回、何らかの刺激を受け、働くことに対する理解が深まっていると感じる。また、最終回のアンケートには、「このような授業は1年生にとって必要と思うか」に対し、回答者121人の93人が「強くそう思う」、27人が「そう思う」と答えている。今後も多くの企業の方々に協力をお願いしたい。
	反省点・改善すべき点	特に無し。

大同大学×グリーンサイクル

	項目	内容
講義等情報	講義等の実施日と時間帯	2023年11月1日(火) 13:00~14:20
	講義等の種類	会社・工場見学
	対象学部・学科	工学部建築学科土木・環境専攻
	対象学年	3年
	受講学生数	15名
	講義等の目的・狙い	持続可能な社会を形成するためには、限られた資源を節約して利用し、可能な限り循環利用することが望ましい。本講では、廃棄物資源と水資源に注目し、その管理手法を学ぶとともに、対象資源、対象物質に応じた処理技術、リサイクル技術、ならびに資源の回収技術を学ぶ。
	講義等のテーマ	当該授業日は家電リサイクル法の概要と処理の実態を学び、家電をリサイクルすることの必要性和現状の問題点等を理解することがテーマである。
	講義等の内容(プログラム)	最初に、家電リサイクル法対象家電の回収・処理システムを講義形式で学ぶ。次に家電品の中間処理工場を見学し、対象家電品がどのように分解・破碎され、何を資源として回収しているのかを学ぶ。
コメント	講義形式(対面授業、オンライン授業等)	対面授業
	学生のコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ここまで丁寧に解体や選別等を行っているとは思っていなかった。 ・処理の多くが手作業で行っていることに驚いた。また、分解作業をされている方の手際の良さに感動した。 ・洗濯機のドラムには塩水が入っていることは知らなかった。そしてその塩水をそのまま捨てるのでは無く、専門の業者で適切に処理してから排水するという徹底さに驚いた。 ・冷蔵庫破碎機の威力・大きさは想像を超えていた。
	担当教員のコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・金属やプラスチックを分別する原理を説明する模型がさらに改良されており、大変わかりやすかったです。 ・解体現場はガラス越しでの見学であり、以前よりも遠く感じました。一方、分解した部品が原料ごとに分けて展示されているものは、間近で見たり触れたりすることができるため、学生達の関心も高かったように感じました。 ・見学会後にお送りした学生からの質問に対して、大変丁寧な回答を頂きました。お忙しい中、貴重な時間を割いて頂き、誠にありがとうございます。
	反省点・改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・対象家電品解体の一部を見学者が体験できると、より一層リアリティを感じて強く記憶に残ると思います。 ・講義と見学の時間が合わせて50分程度しかないため、駆け足での説明になってしまいます。可能であれば、説明時間を短縮して学生からの質問や学生とのコミュニケーション時間を増やしていただけると、学生達の興味や集中力が上がるのではないかと思います。

中京大学 × 中部電力

	項目	内容
講義等情報	講義等の実施日と時間帯	2022年11月10日 14:55～16:25
	講義等の種類	出前授業
	対象学部・学科	経済学部・経済学科
	対象学年	3年
	受講学生数	約50名
	講義等の目的・狙い	社会と業界を知り、将来のビジョンを描く
	講義等のテーマ	エネルギー・社会インフラで社会に貢献
	講義等の内容(プログラム)	自己紹介、中部電力とは、エネルギー業界と電力業界の特徴、世界と日本のエネルギー事情、社会に求められる人材、質疑応答
	講義形式(対面授業、オンライン授業等)	対面授業
コメント	学生のコメント	・技術職として中部電力に就職するのではなく、経済学部生のような文系が就職した場合、どのような部署で働くことになるのか。
	担当教員のコメント	・中部電力という身近な企業を入り口にして、(1)電力業界が(ガス、石油と比しても)私たちのエネルギーと言う重要なインフラを担っていること、(2)電力業界は、発電から販売までを一気に担う業態であることをわかりやすく教えていただいた。また安定的な電力業界と思われがちだが、現代はVUCAの時代でもあり、電力業界も新しいことに挑戦していくマインドが大切であるので、大学生からさまざまなことにチャレンジしていくとよいという助言もいただけたので、学生にとって良い刺激になったと思う。
	反省点・改善すべき点	時間通りに進めていただき、特にトラブルなく終えることができた。事前打ち合わせの際に特に配布資料なしとのことで、スライドだけで授業に入ったが、他の企業では配布資料をいただいていたこともあり、事前の配布資料の配布をお願いした方が学生にとってより実りのある授業になったかもしれないことが改善すべき点である。

南山大学 × 豊田自動織機

	項目	内容
講義等情報	講義等の実施日と時間帯	2022年11月10日 11:05-12:45
	講義等の種類	出前授業
	対象学部・学科	経営学部・経営学科
	対象学年	学部 3年生
	受講学生数	12名
	講義等の目的・狙い	企業の人事制度や人材育成制度の考え方を理解する。
	講義等のテーマ	人事制度／人材育成制度
	講義等の内容(プログラム)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 会社概要と当社の歴史 2. 当社の(事務技術職)人事制度 3. 課題共有 4. 質疑応答
講義形式(対面授業、オンライン授業等)	対面授業	
コメント	学生のコメント	今回の講義を聞いて、まずトヨタ企業の源流である豊田自動織機について歴史から行っている事業まで詳しく知ることができました。特に豊田綱領の内容を聞いて、共感すると共に今にも通じる大切な理念を持ってトヨタグループは成長しているのだと理解しました。また、人事評価、人材育成の話では、正しく評価、効果的に育成することの難しさを感じ、豊田自動織機のそれらの仕組みの工夫や考えを知り、勉強になりました。最後のワークでは、社会人になる上で信頼される部下に必要なことを自分で考え、皆の意見を聞くことでその考えを見直しすることもできました。
	担当教員のコメント	豊田自動織機の事業概要と歴史についてご紹介頂き、その人事制度の概要(豊田佐吉翁による豊田綱領、PDCAサイクル、上司・先輩によるOJT等)についてご説明頂きました。また、上司と部下の信頼関係を強固なものにするために上司と部下が備えるべき条件、コロナ禍で始まった新しい労働環境(在宅勤務等)が上司と部下の関係に与えた影響等についても議論しました。
	反省点・改善すべき点	特になし。

名古屋市立大学×鹿島建設

	項目	内容
講義等情報	講義等の実施日と時間帯	2022年11月10日
	講義等の種類(選択)	出前授業
	対象学部・学科	薬学部、経済学部、人文社会学部、芸術工学部、総合生命理学部
	対象学年	1～3年
	受講学生数	128名
	講義等の目的・狙い	社会においてどのような人材が求められているか、学生のうちに何を学んでおくべきかを就職支援企業に所属する外部講師から学ぶ。また、様々な業界の外部講師から、各業界の社会的役割、社会における位置づけ、仕事のやりがい、将来性、そこで働く楽しさなどについて聞くことで自身のキャリアをデザインにつなげる。
コメント	講義等のテーマ	社会人になるB - キャリア形成に備えた学び -
	講義等の内容(プログラム)	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介 ・所属企業が社会において果たす役割 ・組織内での業務区分 ・職務上必要とされる知識や能力 ・仕事のやりがいや所属業界の将来性 などについて、個々の所属団体の宣伝ではなく、業界の代表として講義。
	学生のコメント	・建設業界は国内での事業がほとんどだと勝手に考えていたので、鹿島建設さんの売上の3割近くが海外というのを聞いて驚きました。建設業界に対する懸念を正直持っていましたが、インフラの整備・点検や海外に市場を広げるなど、この先も建設業界が必要とされることを実感しました。
	担当教員のコメント	学生のコメントを見る限り、毎回、何らかの刺激を受け、働くことに対する理解が深まっていると感じる。また、最終回のアンケートには、「このような授業は1年生にとって必要と思うか」に対し、回答者121人の93人が「強くそう思う」、27人が「そう思う」と答えている。今後も多くの企業の方々に協力をお願いしたい。
	反省点・改善すべき点	特に無し。

名城大学×岡崎信用金庫

	項目	内容
講義等情報	講義等の実施日と時間帯	2022年11月16日 10:50~12:20
	講義等の種類	出前授業
	対象学部・学科	経済学部
	対象学年	3・4年生
	受講学生数	186名
	講義等の目的・狙い	中小企業に身近な金融機関のお話から、中小企業と「カネ」の結びつき、イメージ把握に努める。
	講義等のテーマ	地域金融機関と中小企業
	講義等の内容(プログラム)	1. 自己紹介、業界・同金融金庫のご紹介 2. 信用金庫の業務概要 3. 学生へのメッセージ
	講義形式(対面授業、オンライン授業等)	対面授業
コメント	学生のコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・低金利や運用収益の減少といった大きな課題への対応が金融機関に求められているが、金融機関にも新たなビジネスモデルが必要との話に、企業と同じだと感じた。 ・銀行と信用金庫の業務の違いを知ることが出来た。 ・信用金庫は非営利組織であり、業務で得た利益は地域に還元するとの話が興味深かった。講義で中小企業と地域経済は密接なつながりがあると教わったが、そこに信用金庫が介在する理由を強く意識できた。
	担当教員のコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・これから社会にでる学生にとって、金融機関の役割は未だ半分も理解できていない。金を貸す、回収するだけでなく、地域経済の潤滑油として機能する信用金庫様のお話から、具体的な役割を学生が理解出来たことが大きな成果だと感じている。
	反省点・改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・こちら側のPCセッティングの不備もあり、冒頭に少しお時間をとってしまったことが当方の反省点です。

中京大学 × A社

	項目	内容
講義等情報	講義等の実施日と時間帯	2022年11月17日 13:10～14:40
	講義等の種類	出前授業
	対象学部・学科	経済学部・経済学科
	対象学年	2・3年
	受講学生数	各50名
	講義等の目的・狙い	業界・企業・仕事研究
	講義等のテーマ	社会と業界を知り、将来のビジョンを描く。
	講義等の内容(プログラム)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自己紹介 2. 業界・当社の紹介、自身の仕事内容 3. 会社で得た経験、やりがい、葛藤 4. 学生時代にやっておくと良いこと
講義形式(対面授業、オンライン授業等)	対面授業	
コメント	学生のコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国内の保険加入率は89.9%とインフラに近いものになっており、生活に欠かせないものであると感じました。そして、今後社会保障機能の代わりに、自分自身でリスクに備えておくという需要が増えると考えられており、保険業界は発展していくと思いました。 ・働いていた場所と違う場所から得た知見を元の場所で活かし与えるというのは双方にとって発展することとなり良い制度であると思った。
	担当教員のコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・業界・企業について詳しく説明していただいたので、学生が就活を進める上で有用な情報を得ることができた ・業務経験についても、苦労やチャレンジを経て現在につながっていることが説得力を持って学生に伝わり、仕事研究の上でも有益だった
	反省点・改善すべき点	特になし。

南山大学 × サントリーホールディングス

	項目	記入欄(原則として全て記入してください)
講義等 情報	講義等の実施日と時間帯	2022年11月24日 11:05-12:45
	講義等の種類	出前授業
	対象学部・学科	経営学部・経営学科
	対象学年	学部 3年生
	受講学生数	12名
	講義等の目的・狙い	会社の活動と社員としての活動を理解し、自分自身の働くイメージを持つ。
	講義等のテーマ	サントリーの働き方改革の事例
	講義等の内容(プログラム)	1. 会社概要 2. サントリーの働き方の取り組み テレワーク、フレックスタイム制、RPAの活用スマート、IT(Teams)の活用、 ペーパーレス業務改革プロジェクト、働き方推進リーダー制度など 3. 質疑応答
講義形式(対面授業、オンライン授業等)	対面授業	
コ メ ン ト	学生のコメント	テレワークについて、メリット・デメリットは他の講義や企業の講座で聞いたことはあったけれど、詳細に社員の皆さんのアンケート結果を知ることができて面白かった。私たちも大学一年生からコロナ禍によってオンライン授業を続けてきたが、通学時間が省けて自分の時間に使えることや、逆に集中できずに授業に身が入らないことなど、テレワークの場合と同じ例が挙げられていると思った。働き方について、テレワークという新しい方法が確立され、便利な面はあるが企業の成長には個人のメリットのみを優先してはいけないと聞き、企業全体を考慮して業務体制を構成するのは非常に難しいことだと思った。
	担当教員のコメント	サントリーの働き方改革について情報提供頂きました。「やってみなはれ」の精神で組織として様々な改革に取り組んでいることがとても印象的でした。また、テレワークの活用についても、会社の活動と社員としての活動のバランスの観点から、様々な議論が進められていることが参考になった。
	反省点・改善すべき点	特になし。

中京大学×豊田自動織機

	項目	内容
講義等情報	講義等の実施日と時間帯	2022年12月1日 14:55～16:25
	講義等の種類	出前授業
	対象学部・学科	経済学部・経済学科
	対象学年	3年
	受講学生数	50名
	講義等の目的・狙い	業界・企業・仕事研究
	講義等のテーマ	女性の働き方、キャリア形成
	講義等の内容(プログラム)	1. 自己紹介、業界・当社の紹介 2. 業務紹介 3. 社会人に必要な能力 4. 学生へのメッセージ
講義形式(対面授業、オンライン授業等)	対面授業	
コメント	学生のコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車産業に興味を持った理由として、日本の基幹産業で産業が支える経済の裾野が広いことや、特に東南アジア圏での経済発展に貢献してきたことが挙げられていた。自分自身も企業だけでなく、なぜこの業界に興味を持ったのかという点について深堀していきたいと思う。 ・大学時代に、多くの人と出会い話すこと、自分の得意なことを見つけること、なぜこの質問をするのかと根本を考えることなど、出来ることは多くあると思うので、実践していきたい。
	担当教員のコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・アメリカでの海外研修など講師の方の業務紹介に学生が強い関心を持ち、仕事のビジョンが広がったと思う。 ・社会人に必要な能力を端的に3つ挙げていただいたことで、学生に今後の重要な指針を提供していただいた。
	反省点・改善すべき点	特になし。

名古屋学院大学×NEXCO中日本

	項目	内容
講義等情報	講義等の実施日と時間帯	2022年12月7日 13:00～14:30
	講義等担当企業名	NEXCO中日本
	対象学部・学科	経済学部・現代社会学部
	対象学年	2年生(但し3年生以上も受講可)
	受講学生数	42人
	講義等の目的・狙い	様々な業界・企業について知り、職業選択や進路の決定に役立てることを目的とした講義である。
	講義等のテーマ	NEXCO中日本の事業についてとインフラ企業の地域貢献活動について
	講義等の内容(プログラム)	1.自己紹介 2.NEXCO中日本について 3.インフラ企業の社会貢献について 4.学生へのメッセージ 5.質疑応答
	講義形式(対面授業、オンライン授業等)	対面授業
コメント	学生のコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・地域貢献に興味を持っていますが大学時代の地域貢献の活動を実際に社会に出てどのように活用できるのかを知ることができた。 ・民営化の際の苦労やインフラ企業の苦労などを知ることができた。 ・高速道路のサービスエリアの運営など興味のあることを知ることができた。
	担当教員のコメント	金融やメーカーなどの他業種と違い、インフラ企業であることを活かした様々な地域貢献の取り組みを紹介していただきました。大学としての地域貢献のあり方を考える上でも大変参考になりました。
	反省点・改善すべき点	特に無し。

愛知県立大学 × 第一生命保険

	項目	内容
講義等情報	講義等の実施日と時間帯	2022年 後学期期間中に全3回実施
	講義等の種類	PBL(課題解決型)授業
	対象学部・学科	全学教養 (外国語学部、日本文化学部、教育福祉学部、情報科学部、看護学部)
	対象学年	1・2年生
	受講学生数	34名
	講義等の目的・狙い	1, 2年生を対象として、将来どのような仕事を選ぶにしても必要な「社会人基礎力」をみにつける。
	講義等のテーマ	「実践形式で学ぶ社会人基礎力講座:FSP(Future Skills Project)」
	講義等の内容(プログラム)	企業が抱える様々な課題を題材にして、学生自身が「社員」になったつもりで解決策を見出し、新しい戦略や提案を練り上げる作業を行う。「課題」は実際に企業が取り組んでいるものの中から出される。まず企業講師による講義があり、その後「課題」が出され、受講者6人程度で1つのチームを編成して課題に取り組む。2週間で「中間発表」を行い、そこで企業の方にアドバイスしてもらい、さらに2週間後に「最終プレゼン」を行う。
	講義形式(対面授業、オンライン授業等)	対面授業
コメント	学生のコメント(特徴的なものを記入)	<ul style="list-style-type: none"> ・大学1年生の授業としては課題が難しく、グループワークも大変だったが、それに挑戦したことで成長できた。 ・自分がいかに無知かを思い知った。これまで楽に単位を取るばかり考えていたが、これからは苦手意識があっても自分に必要なことを学んでいきたい。 ・プレゼンに対する講師からの質問や指摘が鋭すぎて全く反論できず、社会人の凄さを知った。 ・課題で示された「ブランド力」という言葉の意味を正確に理解できておらず、まず課題の意味を正確に理解することが大切だと感じた。
	担当教員のコメント	比較的若手の社員の方が講師でしたが、内容が濃くメリハリのきいた講義で素晴らしかったです。年齢的に近いがゆえ、その方の仕事に対するポリシーには少なからぬ学生が影響を受けたようです。上司の方との2人体制でご協力いただき、質問やコメントは的確で鋭く、学生たちは「徹底的に議論し、考える」ことの大切さを学びました。最終プレゼンの後には詳細にびっしりと評価コメントを書いていただき、学生たちも感動していました。御礼申し上げます。
	反省点・改善すべき点	2年ぶりに全面対面授業での実施となり、以前と比べて学生たちの間に「チームで働く」ことに対する戸惑いがあったように感じました。主体的にグループワークに参加できず、途中で脱落する者も数名いました。学生たちの「マインドセット」が不十分だったのが反省点です。

名古屋学院大学 × 豊田自動織機

	項目	内容
講義等情報	講義等の実施日と時間帯	2022年12月21日 13:00～14:30
	講義等の種類	出前授業
	対象学部・学科	経済学部・現代社会学部
	対象学年	2年生(但し3年生以上も受講可)
	受講学生数	35人
	講義等の目的・狙い	様々な業界・企業について知り、職業選択や進路の決定に役立てることを目的とした講義である。
	講義等のテーマ	豊田自動織機についてと、文系のキャリアとしての海外営業について
	講義等の内容(プログラム)	1.自己紹介 2.豊田自動織機の歴史と事業について 3.自身の海外営業の経験 4.学生へのメッセージ 5.質疑応答
講義形式(対面授業、オンライン授業等)	対面授業	
コメント	学生のコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・中南米への営業の経験をお話されて大変興味深く聞くことができた。 ・海外営業の苦労や実践を詳しくお話していただいて大変参考になった。 ・学生時代からの語学の取り組みを聞くことができて参考になった。 ・海外におけるコロナ禍の取り組みの現状を知ることができた。
	担当教員のコメント	ご自身のアルゼンチンへの海外赴任の経験を踏まえた苦労や成果などをお話された大変興味深い講演で、本学の学生にとっても充実した講演でした。また、本学の文系の学生の今後のキャリアを考える上でも大変参考になったものと思います。
	反省点・改善すべき点	特に無し。

南山大学 × 大同特殊鋼

	項目	記入欄(原則として全て記入してください)
講義等情報	講義等の実施日と時間帯	2022年12月22日(木) 13時35分～15時15分
	講義等の種類	出前授業
	対象学部・学科	経営学部・経営学科
	対象学年	3年生
	受講学生数	14名
	講義等の目的・狙い	管理会計実務(管理会計担当者の業務内容)の意義の理解
	講義等のテーマ	経営計画策定の実際と管理会計業務のやりがい
	講義等の内容(プログラム)	1. 会社・業界の紹介 2. 経営計画(予算)策定の【実際】 3. 管理会計業務の【やりがい】
	講義形式(対面授業、オンライン授業等)	対面授業
コメント	学生のコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・管理会計や経営計画の立て方に関して勉強でき、とても有意義でした。 ・本日聴講して実際に管理会計が企業経営をしていく中で活かされていること、管理会計をもとにした計画や業績評価が経営の中心にあることを感じた。計画があることが仮説検証のスタートだということを知り、管理会計の重要性を改めて認識することができた。質疑応答も充実していて面白かった。 ・時代や顧客のニーズに合わせて管理会計を変化させるなどの取り組みが企業の経営の基盤を築き、適切な意思決定をするのに役立っていると思った。 ・経営計画の流れについて、実践的なイメージを掴みながら理解することができました。講義だけでは理解が追いつかない面を補えたので、とても勉強になりました。 ・中期経営計画がどのように作られていくかなど管理会計業務について知らないことがたくさんあり、勉強になりました。また、管理会計は会社が良くなる上で必要不可欠なものであると知り、やりがいのある仕事であると感じました。
	担当教員のコメント	経営計画策定の実際について講演いただき、大変、興味深い内容でした。これまでの講義で学んできた中期経営計画、利益計画、予算編成が実務でどのように策定され、実施されているのかについて、学生たちの理解が進んだように思う。事前に資料を頂戴したこともあり、当日は、質疑応答も活発にできてよかったと感じる。
	反省点・改善すべき点	特になし。

名古屋市立大学×サントリーホールディングス

	項目	内容
講義等情報	講義等の実施日と時間帯	2022年12月22日 09:00-10:30
	講義等の種類	出前授業
	対象学部・学科	人文社会学部心理教育学科
	対象学年	3年生
	受講学生数	29人
	講義等の目的・狙い	企業の人材開発の実際を学ぶ。
	講義等のテーマ	人事心理学: 企業の人材開発の実際を学ぶ
	講義等の内容(プログラム)	サントリーの人材開発の実際について講演
	講義形式(対面授業、オンライン授業等)	対面授業
コメント	学生のコメント	人材育成やワーク・エンゲージメントの向上など、会社の利益追求だけでなく、社員の様々な面を考慮し柔軟な姿勢も大切にすることがまわりまわって利益につながることを、実際に働いている方からお聞きすることで実感できた。
	担当教員のコメント	サントリーの企業理念から人材開発の実際まで、包み隠さず、わかりやすくお伝えいただけたいと思います。学生にとっても、授業で学ぶ抽象的な概念・理論と実際の施策・制度などの橋渡ししができたものと思います。
	反省点・改善すべき点	当日音響設備が必要と言われたが、設備が無く、急遽取りやめていただいた。

愛知大学×朝日新聞社

	項目	内容
講義等情報	講義等の実施日と時間帯	2023年1月10日 13時～14時半
	講義等の種類	演習
	対象学部・学科	経済学部経済学科
	対象学年	2、3、4年
	受講学生数	42名
	講義等の目的・狙い	日常の様々な出来事をSDGsとの関係性の理解
	講義等のテーマ	現代社会とSDGs
	講義等の内容(プログラム)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 講師の自己紹介 2. 授業の趣旨説明 3. 新聞記事へのSDG付箋の貼り付け(グループ単位) 4. 結果のグループ発表と質疑応答 5. 講師の総括コメント
講義形式(対面授業、オンライン授業等)	対面	
コメント	学生のコメント	見出しを見ただけではSDGsと関係がなさそうな記事も、内容を検討するとほとんどがSDGsに関係することが分かった。広告を含めた紙面のほぼすべてに付箋が貼られる結果になった。
	担当教員のコメント	SDGsとの関係性という視点から、新聞記事を深く読み込むよい経験になった。今後も、学生がそのようにして新聞記事その他の報道媒体に接していくことを期待する。
	反省点・改善すべき点	特になし

名古屋市立大学 × 中部経済連合会

	項目	内容
講義等情報	講義等の実施日と時間帯	2023年1月12日
	講義等の種類	出前授業
	対象学部・学科	薬学部、経済学部、人文社会学部、芸術工学部、総合生命理学部
	対象学年	1～3年
	受講学生数	128名
	講義等の目的・狙い	社会においてどのような人材が求められているか、学生のうちに何を学んでおくべきかを就職支援企業に所属する外部講師から学ぶ。また、様々な業界の外部講師から、各業界の社会的役割、社会における位置づけ、仕事のやりがい、将来性、そこで働く楽しさなどについて聞くことで自身のキャリアをデザインにつなげる。
	講義等のテーマ	社会人になるB – キャリア形成に備えた学び –
コメント	講義等の内容(プログラム)	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介 ・所属企業が社会において果たす役割 ・組織内での業務区分 ・職務上必要とされる知識や能力 ・仕事のやりがいや所属業界の将来性 などについて、個々の所属団体の宣伝ではなく、業界の代表として講義。
	学生のコメント	・私は冒頭の質問である東京一極集中は良くないと考えていた。しかし、中部圏の強みや弱みを聞いて、一極集中が完全に悪いのではなく、他の地域と関わりがないのが良くないのではないかと考えた。一つに集中することは世界と戦える強さがある。その上で他の地域と連携すればより強い国力をつけることができるのではないと思う。 ・ものに付加価値をつけて売り出す、「ことづくり」を目指していかなければならないというお話には深く考えさせられました。世界各国で経済や技術の進化が大きく進み、手に入るサービスや物が増えてきたなかで、日本の先進国としての立場が危うくなった今、いち早く経済の発展を成し遂げなければならない状況で、ことづくりはとても重要になってくると思いました。
	担当教員のコメント	本講義のメインテーマは、「様々な業種・業界について理解を深めること」であるが、この講義では他と異なり、「中部圏はモノづくり産業に支えられ、豊かで安泰」と思い込んでいる学生に対し、世界の産業(構造)の変化、中部圏の産業の今後の動向などをお話いただいた。コメントを見る限り、そのことは伝わったと思われる。
	反省点・改善すべき点	仕方がないが、コロナにより学生同士が意見交換をする時間を取ることができなかったことを残念に思う。

東海学園大学 × 三井不動産リアルティ

	項目	内容
講義等情報	講義等の実施日と時間帯	12月末まで動画視聴
	講義等の種類(選択)	その他(動画による講座)
	対象学部・学科	全学部(経営・スポーツ健康科学、人文、心理、教育、健康栄養)
	対象学年	2年生
	受講学生数	約50名
	講義等の目的・狙い	社会人として働くうえで大切なことやビジネス上の信頼関係を築くうえで大切なことは何かを企業視点から学ばせる。
	講義等のテーマ	働くための知識と技術
	講義等の内容(プログラム)	<ol style="list-style-type: none"> 1 自己紹介・会社紹介 2 社会人とは 3 ケーススタディ 4 ソーシャルスキルとは 5 学生時代にしておく良い経験は？
講義形式(対面授業、オンライン授業等)	オンデマンド配信	
コメント	学生のコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすい説明で聞きやすかった ・社会人になると、どのように相手の立場で考えていく必要があるのかが分かった。 ・後半は勉強になった。
	担当教員のコメント	講師自身のキャリアを踏まえたケーススタディを通じて、学生生活を通じて得られるもの、将来を見据えて意識すべきことを伝える。
	反省点・改善すべき点	会社説明の部分と、プログラム内容を別の動画にするなどをして学生に見せないと何の授業の為に見せているのかポイントがずれてしまうと思う。

東海学園大学 × 豊田鉄工

	項目	内容
講義等情報	講義等の実施日と時間帯	12月末まで動画視聴
	講義等の種類	その他(動画による講座)
	対象学部・学科	全学部(経営・スポーツ健康科学、人文、心理、教育、健康栄養)
	対象学年	2年生
	受講学生数	約50名
	講義等の目的・狙い	社会が求める人材の特徴を知り、今後の学生生活で自身が成長させていくべき課題を知る。
	講義等のテーマ	人事担当者による『企業が求める人材』
	講義等の内容(プログラム)	<ol style="list-style-type: none"> 1 自己紹介 2 会社紹介 3 トヨタの仕事 4 求める人物像 5 皆さんへのメッセージ
	講義形式(対面授業、オンライン授業等)	オンデマンド配信
コメント	学生のコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・会社が何をやっているのかはよく分かった ・それぞれの仕事内容を知ることができて良かった。 ・ずっと会社説明を聞いている感じだった。
	担当教員のコメント、反省点・改善すべき点	会社説明など主題に入る前の時間が長く、前半で学生も疲れてしまったようである。また採用試験の問題なども出ており、視聴していた学生が困惑したとの話もあった。

東海学園大学×フジトランスコーポレーション

	項目	内容
講義等情報	講義等の実施日と時間帯	12月末まで動画視聴
	講義等の種類	その他(動画による講座)
	対象学部・学科	全学部(経営・スポーツ健康科学、人文、心理、教育、健康栄養)
	対象学年	2年生
	受講学生数	約50名
	講義等の目的・狙い	学生と社会人とのギャップ、仕事の理想と現実のギャップ、社会人基礎力の必要性等を知る。
	講義等のテーマ	社会でうまくいっている人財の共通点とは?どんなひと?
	講義等の内容(プログラム)	1会社説明 学生と社会人とのギャップとは? 2 仕事の理想と現実のギャップとは? 3 社会人基礎力の必要性 4 「評価は他人」 5 「働く」ということ 6 企業が求める人材像、社会人として求められる人間力とは 7 東海学園大学学生の皆さんへアドバイス
	講義形式(対面授業、オンライン授業等)	オンデマンド配信
コメント	学生のコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人になるには、たくさんの事を学んでいく必要があると感じた。 ・社会でやっていくのは大変と感じた。 ・社会で上手いっている人との共通点を作るように努力する必要があると感じた。
	担当教員のコメント	<p>画面が分かりやすく作られており、学生にも示しやすく内容は理解しやすかったと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年よりお話の内容が高度になった気がします(※昨年も視聴された教員より) ・2年生というより3年生初期に視聴させたい内容であった。
	反省点・改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・文字が小さい箇所があり、スマホ視聴の学生が見づらかった可能性がある。

東海学園大学 × サラエナジー

	項目	内容
講義等情報	講義等の実施日と時間帯	12月末まで動画視聴
	講義等の種類	その他(動画による講座)
	対象学部・学科	全学部(経営・スポーツ健康科学、人文、心理、教育、健康栄養)
	対象学年	2年生
	受講学生数	約50名
	講義等の目的・狙い	経験の伝え方(コミュニケーション能力やテクニック)と、どんな経験を学生時代にしておくの良いのか等を学び、今後の学生生活に活かしていく。
	講義等のテーマ	採用面接における学生時代の経験の伝え方
	講義等の内容(プログラム)	<ol style="list-style-type: none"> 1 自己紹介・会社紹介 2 そもそも面接とは 3 企業が面接で見ているポイント 4 STARを意識した面接 5 オンライン面接での注意点 6 学生時代にしておく良い経験は？
	講義形式(対面授業、オンライン授業等)	オンデマンド配信
コメント	学生のコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的にやっている風景を見れたのは良かった。 ・面接の時に上手くやっていく自信が無くなった。 ・これを参考に面接を頑張って練習したい。 ・Web面接で、いろいろ気にすることが知れてよかった。
	担当教員のコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・実例で面接を見せていただいたのは非常に参考になりました。 ・着目点も分かりやすく、この部分だけでも教材として使用したく感じています。